



# たかずやの里通信

平成30年度 -第1号-

・・・発行日・・・

平成30年6月1日

・・・発行人・・・

児童養護施設 たかずやの里

伊那市東春近7000-8

TEL 0265-72-6456

FAX 0265-72-7607

## 卵かけご飯

施設長 菅 雄峰

30年ほど前のこと、当時、たかずやの里は「たかずや保養園」と言いました。お盆のころ、ほとんどの子どもが親元に帰省し、わずかに残った子どもを職員が自宅に預かり、たかずや保養園を閉めていました。そこに、小学1年生の男子が予定より早く父親に連れられて戻ってきました。私の担当する子どもでしたので、私の自宅へ連れ帰ったのです。

私の母が、その子に「何食べたい。」と聞くと、「卵かけご飯。」と答えたのです。拍子抜けした母は「もっと他に食べたいものはなに？」と聞くと、「卵かけご飯がいい！」と繰り返します。仕方なく、ご飯と卵を用意すると黙々と食べて「おいしかった。」と一言。この情景を思い出すたびに、食べきれないほどの料理よりも、素朴だが満足感を得られる一杯のご飯が大切だと感じます。たかずやの里がこの卵かけご飯のような役割を果たせたらと思っています。

## 主な年間行事

◇ふれあいの森(旧施設跡地)環境整備作業

6月16日(土) ※雨天時は翌17日(日)

◇たかずやの里 ふれあい祭り

10月14日(日)

毎年たくさんの方々にご来場いただいております。今年もたかずやの里で行います。ぜひお越しください。

◇たかずやの里 クリスマス会

12月22日(土)

◇たかずやの里 退園式

3月21日(木)

※日程が変更になる場合もあります。ご了承ください。

## 地域の皆様、ぜひご利用ください。

### ふれあいの森 (旧施設跡地)

富県地籍の「たかずやの里」があった跡地を広葉樹が広がる「ふれあいの森」にしようと、昨年6月、ボランティアの協力を得て、どんぐりやグミの苗木、約60本を植えました。ひと冬を越えて順調に成長しています。高遠湖畔から移植したコヒガンザクラも今春は見事な花を咲かせました。簡単な水飲み場を用意しました。これからの季節は飯盒炊さんやキャンプにはもってこいです。四季折々、たかずやの里の子どもが野外活動に利用しますが、空いているときは地域の皆様も是非ご利用ください。

(ご利用についてのお問い合わせは、たかずやの里 72-6456まで)



↑ 桜満開のふれあいの森

### 交流館 (たかずやの里併設)

たかずやの里交流館は、施設のイベントや子ども達の体育館として活用していますが、地域の方々のご健康増進にも貢献できるよう一般開放をしています。昨年度は一年間で延べ5000人ほどの利用がありました。広さは学校体育館の三分の一ほどですが、ヨガ、筋力トレーニング、太極拳、剣道などの団体が利用しています。利用料は1回200円の電気代と冬季の燃料代をいただいています。現在、ウィークデーの昼間は空きがありますので、利用を検討したい団体はご一報ください。

(ご利用についてのお問い合わせは、たかずやの里 72-6456まで)



↑ 男性筋トレのみなさん 毎週火曜日に利用しています。

## 体験報告&ボランティア紹介

### たかずやの里 お花見

4月15日にお花見会を開催しました。あちこちの桜の花は散り始めましたが、旧施設跡に咲く桜は満開。当日は雨でしたので室内でお花見をすることにしました。旧施設跡から桜の枝を切ってきたり、子どもたちが花紙で作ったお花を飾ったり、満開の桜の映像を流しながら場の雰囲気高めました。あいにくの天候にもかかわらず81名の参加者があり、盛大に行うことができました。「お弁当を食べている子どもたちの笑顔が満開のお花見だ。」と理事長が挨拶しましたが、まさに花より団子?の子どもたちでした。



旧施設跡に咲いた桜の枝を持ってきて室内開催のお花見を楽しみました。

### 東春近運動会 ミニマラソン

毎年参加している東春近運動会に今年も参加しました。種目はミニマラソンです。たかずやでは小中高生合わせて13人の子どもが参加しました。受付を済ませてゼッケンをつける際には和気あいあいとした雰囲気が流れました。少し待ち時間があり、大概の子が遊んでいたり友だちと話したりもしていました。しかし、集合がかかるとやる気になり、よーいドンで合図で一斉にスタートしてからはみんな真剣に走っていました。中組の人や地域の人への挨拶も中高生中心にできていて、とても良い機会になりました。



勢いよく走っている高学年の男子。上位を目指して頑張りました!

### 富県 ハイキング

たかずやの里が富県にあった頃から、恒例行事として参加してきた「高鳥谷山 富県区民ハイキング」。東春近への移転後も参加させていただいています。今年は5月4日に開催され、たかずやの里からも幼児さんから中学生まで、5名の子どもが参加しました。元気よくグングン先頭を行く子や、自分のペースでゆっくり歩く子など…。全員がつが平まで到達でき、綺麗な眺めを見ておいしくお弁当をいただきました。雨がちらつく時もありましたが新緑の山の中を楽しく歩くことができる良い機会となりました。



新緑の富県を歩く子どもたち。リュックには手づくりの美味しいお弁当が入っています。

### ありがとうございます ボランティアの紹介

たかずやの里では、多くの方々からご支援、ご協力をいただいています。その活動範囲も多岐にわたって、子どもに関わる内容、施設に関わる内容など様々です。『愛のボランティア』の方々は、子どもたちの学校が休みの日に来ていただき、男の子は外でサッカーや野球をしたり、女の子は屋内でアクセサリー作りをしたりと、多様な遊びをしていただいています。ボランティアの皆様には、私ども職員だけでは手の行き届かない場面に手を差し伸べていただき、日々感謝しております。いつもありがとうございます。



女の子たちの大好きなアクセサリー作り。みんな時間を忘れて熱中していました。

## ユニット紹介 - マーガレットユニット -

たかずやの里には5つのユニットがあり、一つのユニットに最大8人の子どもが生活しています。マーガレットユニットは小学3年生から、高校3年生までの女の子がワイワイ賑やかに生活しています。どのユニットよりも誕生日会が盛大で、イベント大好きな女の子たち。部屋を可愛く飾り付けしたり、クラッカーを鳴らしたり、主役の希望献立をみんなで食べたり、ミニゲームを楽しんだり、寄せ書きを渡したり…と、楽しいことが盛りだくさんの会になっています。体を動かすことも大好きで、交流館でバレーや卓球に打ち込んだり、外で自転車に乗って走り回ったり、とっても元気いっぱいです!でも遊んでいるばかりではなく、学習も頑張ります。毎日夕食後には「学習タイム」が設けられ、全員が自分のための学習に日々取り組んでいます。



誕生日会にはユニットの子どもと職員が大集合!とっても賑やかな会になりました。